

在宅取組型

学校名等	笠松町立笠松中学校
実施日時	令和2年8月1日(土)～8月24日(月)夏休み中
会場	各家庭 及び学校
参加人数	全校生徒550人とその保護者
学習課題(分野)	親子ケータイ安全講習 (YouTube 視聴) 社会のルール・自制心・善悪の判断



運営者の願い
毎年ケータイ安全教室講演会を行っていましたが、コロナ禍で集まることが難しく、他の方法はないかと考えていました。笠松中学校には「笠 Tube」という「YouTube」で見ることができる教材集(290本以上)があり、休校中も視聴により、学習が成立しています。これを利用して7月に毎年行っている自転車点検が実施できたので、同じように「笠 Tube」を利用して進めようと考えられました。



学習の内容

<内容>

7月の「親子自転車点検」では、自転車点検動画をPTAで作成し、チェックカードを各家庭に配布し、笠 Tube を利用して視聴しながら点検する活動を行った。さらに、「親子ケータイ安全講習」も「笠 Tube」を活用しようと、担当の役員が探し、愛媛県警本部少年課が作成した「動画投稿をきっかけとした個人情報流出」「ネット上での悪口被害」「不適切な動画投稿」「児童ポルノ被害」の4本を「笠 Tube」にリンクを貼った。この動画を親子で視聴し、親子で話し合い、その感想を提出するという方法で取り組んだ。興味も高く、ほぼ100%の参加だった。

「笠 Tube」という環境が整えられており、いつでも活用できるということが素晴らしいです。また、PTAの活動を昨年に劣らず今年も継続しようとされ、「親子自転車点検の動画」(4分26秒)を作成して実施されました。

笠松中学校生徒向け専用サイト(全年対象)
2020年8月24日

4月8日(水曜日)から5月31日(日曜日)までの学校休業中、笠松中学校より生徒向けに配信されています「笠Tube」の内容をこのホームページで閲覧できるようになりました。ぜひ活用してください。

資料	配信回数	配信日	動画タイトル
笠 Tube	1	4月16日	笠 Tube 親子ケータイ安全講習
動画	2	8月7日	親子自転車点検

親子ケータイ安全講習の振り返りシート

年 級 番 名 ()

質問内容	振り返り
① 動画配信の内容を理解できたか。	低 1・2・3・4・5 高
② 親子で話し合う事が出来たか。	低 1・2・3・4・5 高
③ 危険に対する意識を高められたか。	低 1・2・3・4・5 高

感想文(半紙記入欄)

親子ケータイ安全講習について

家庭の機、子供が持っているスマートフォンは、原則として、笠松中学校のPTA 事務局にご登録を願います。

緊急事態宣言が解除され、8月1日より学校再開となりましたが、通学再開にあたり、毎年行っていたケータイ安全教室が中止となり、笠 Tube を利用して親子で学習していただく機会を、親子ケータイ安全講習、1か月の機会とさせていただきます。

親子ケータイ安全講習が終了した後の学習に、各家庭で活用していただき、学習の機会を増やすことを目的とさせていただきます。

目 的

1. 動画配信内容(8月1日)「笠 Tube」の動画視聴
2. 内容 動画や印刷されたチェックカード、アプリの機能をもとに、家族で話し合いを行う機会をもち、通学再開後の環境に合わせた、学校から発信される危険情報やドコモケータイ安全講習の活用を、おこなうこと。
3. 目的(8月)

案内文書 振り返りシート

まとめの振り返りの文書

☆アンケート結果☆ 評価低い⇒1、高い⇒5

質問内容	1	2	3	4	5
①動画配信の内容を理解できたか	0	0	0	0	400
②親子で話し合えたか	0	0	0	0	400
③危険に対する意識を高められたか	0	0	0	0	400

☆生徒感想☆

- SNS 問題では、被害に合わないために学んでいたが、今回の動画で自分も加害者になるかもしれないので使用する時には責任をもって使わなければいけない。
- 具体的な例をもとに説明されていたのでわかりやすかった。
- 一度 SNS に上がってしまった情報は、一生消えない、その責任もあることをきちんと理解して使いたい。

☆保護者感想☆

- 子どもを被害者にも加害者にもさせないために、今回話し合う場が持て良かった。
- まだ携帯を持たせていませんが、今後携帯を持たせるときには、十分に話し合い、ルールを決めた上で使わせたいと思いました。

家庭に動画視聴の環境がない場合は、学校から DVD とプレイヤーが貸し出されることも案内に入っています。



親子で情報モラルを学ぶのに適した動画を探し、愛媛県警にリンクの許可も取りました。こういったPTA役員さんの姿勢に感服します。

動画は5分から7分の時間で視聴しやすく学べます。家庭教育学級の取組ができ、見事な活動をされていると感じます。活動が停滞しそうな時期に逆に活発にしていこうとする動きが素晴らしいです。